

2024年2月28日

各位

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社

「第3回日経統合報告書アワード2023」にて2年連続で優秀賞を受賞

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社(取締役執行役社長:高倉 透、以下「当社」)は、日本経済新聞社が主催する「第3回日経統合報告書アワード2023」において、優秀賞を受賞しましたのでお知らせします。なお、今回は、昨年を引き続き、2年連続での受賞となります。

「日経統合報告書アワード」は、日本企業の発行するアニュアルレポートの更なる充実と普及を目的に1998年から実施されている「日経アニュアルレポートアワード」が2021年度に改称されたものです。現役のファンドマネージャーやアナリストの方々が、応募企業のアニュアルレポート・統合報告書を複数の項目別に審査し、特に優れたものを表彰する取り組みです。

「日経統合報告書アワード」として第3回目となる2023年度は475社が参加し、その中からグランプリ3社、ESG グランプリ5社、準グランプリ6社、新人賞1社、および優秀賞42社が選出されました。

当社は、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまに、新たな価値を創造する取り組みやガバナンス高度化の取り組みなどを広くご理解いただくために、2017年より統合報告書を発行しています。2023年版では、重要課題(マテリアリティ)について、これまでの経緯や見直しの背景、価値創造プロセスへの反映に関して、読者の方に分かりやすい丁寧な説明を目指しました。また、コーポレートガバナンスについて、取締役会の実効性向上や議論内容等についての情報を充実させましたが、今回の審査においても、このようなマテリアリティマネジメントやガバナンス体制を分かりやすく伝えている点が、高く評価されました。

今後も統合報告書の更なる充実・改善に取り組み、ステークホルダーの皆さまが当グループの取り組みをご理解いただくためのコミュニケーションを活性化していくとともに、公正でタイムリーな情報開示に努め、企業価値向上を実現してまいります。

以上

(ご参考)

三井住友トラスト・ホールディングス 統合報告書2023 ディスクロージャー誌
本編

<https://www.smith.jp/-/media/th/investors/disclosure/2022/all1.pdf>

